



## 高齢者の生きがい

＝シルバー人材センターがスタート＝

高齢者事業団富士市シルバー人材センターの設立総会が、10月13日農協会館で関係者400人が出席して開かれ、正式にスタートしました。

このシルバー人材センターは、県下で初めて誕生した高齢者事業団で働く希望をもつ60歳以上の人達で構成されています。

事業活動は、民間企業や役所などから仕事を請け、各会員の希望、能力、経験に応じて仕事をし、配分金を受け取る仕組みになっています。

渡辺市長は「老人の雇用開発、生きがい対策として行政も全面的にバックアップしたい」と約束しました。



「県下に波及すれば最高だね、

設立総会に出席した静岡県高齢者退職者の会々長秋山要さん(三島市)に聞いて見ました。

——富士市が、高齢者の生きがい対策にいち早く取り組み、県下初の高齢者事業団を設立したことは県下の高齢者の方々にとっても大変意義あることで、富士市をモデルにして今後



### 児童にヘルメット着用を

(こえ) 現在、児童が使用中の防災頭巾は、耳をふさぐため外の音がはっきり聞こえません。

地震、その他の災害事故防止効果が薄れています。

そのかわりとして、ヘルメット着用を親として熱望していますがどうでしょうか。(天間Nさん)

(こたえ) ヘルメットの着用については、登下校、その他、災害時に備えての訓練に一部の学校で試験的に使用しています。

今後、教育委員会としては、それらの学校の意見などを聞きながら検討し、児童、生徒の安全対策と合わせて安全教育に努力したいと考えています。(教育委員会学校教育課)

県下に事業団設立の気運が高まれば高齢者にとってもまさに楽しい社会の再来ですね。

## あたたかなふれあいの場に

ボランティアセンターほのぼの広場オープン

待望の富士市ボランティアセンター「ほのぼの広場」が、吉原中央町公園南側に完成し、9月27日開所式が行われました。

このほのぼの広場は、市が建設し、奉仕活動をする人たちの自発的な運営にまかされることになります。

目的は、ここを拠点としたボランティア活動の活発化と、相互の交流、さらに福祉に対する理解を求めていくことにあります。

いままで公民館や、市役所を借りていたボランティアグループや社会のために何か役立ちたい、といった人たちの善意を受け入れる場所にもなるでしょう。

どんなボランティアセンターになるか、それはボランティアのみなさんが考え、造りあげていくもので、今後の運営が期待されます。

